



埼玉P連 会報 No.202

主な内容

- 合同役員会報告……………1
- 県P研究大会秩父大会……………2
- 県P研究大会秩父大会……………3
- 各委員会報告……………4

発行/埼玉県PTA連合会 TEL 048-822-8561 発行人/会長 島田 豊 編集/会報編集委員会

理事会・合同役員会開催される

平成十七年一月二十日(木)、県P理事会及び理事・常置委員・専門委員による合同役員会が、浦和地方庁舎において続けて開催されました。

平成十六年度第三回理事会

平成十七年一月二十日

午後一時半～三時半

出席12名委任状17通(総理事数37名)各事務所からの先生方8名

〈協議事項〉

(一)第51回埼玉県PTA研究大会について

○交通機関・駐車場について

○質疑応答の時間について

(二)平成十七年度事業計画(案)について

○会議日程を前もって決定して進めていく。

○広報紙づくり講習会について

●十七年度は県事務局と各地区役員で協力開催する

○定期総会について

●六月二十二日(水)

行田市教育文化センター「みらい」

●今後は輪番制で開催

○第52回埼玉県PTA研究大会について

●比企地区で開催予定

(三)常置委員会報告

○家庭教育委員会開催予定

(三月)

○会報編集

会報二〇一〇号発行

○環境対策

児童生徒の薬物乱用防止活動について

(四)平成十七年度各地区事務局について

○PTAへの移管にあたり、配

布文書の送付先名簿を作成。

(五)報告事項

○組織検討 四回の委員会開催

○PCC問題対策

○12/24第12回口頭弁論

新潟中越地震

○毎日新聞へ寄託した後の最終振込分一九三、七三五円は新潟県小中学校PTA連合会の口座へ。

(六)その他

○講師派遣事業の名称変更(承認)

○広報紙づくり講習会の参加人数、テキスト数の取りまとめは県Pへ。

○広報紙づくり講習会の会場費について

合同役員会

平成十七年一月二〇日(木)

午後三時半～四時半

出席19名(内各委員会15名)

〈協議事項〉

(一)理事会報告

(二)その他

○日P「児童虐待防止活動の実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

○日P「PTA実践事例集」

平成十六年度第四回理事会

平成十七年三月十一日(金)

午後二時～四時半

出席12名、委任状12通(総理事数37名)各事務所の先生方7名

〈報告事項〉

(一)埼玉県PTA研究大会について

内山実行委員長よりお礼の言葉

(二)委員会等報告

○会報編集 二〇二〇号準備中

○家庭教育 2/22視察研修

○環境対策 「薬物乱用マニュアル」製作

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

○組織検討 経過報告

平成17年度 埼玉県PTA連合会事業計画(案)

月	事業名	月	事業名
4	第8回正副会長会、平成16年度分会計監査(6日) 第14回口頭弁論(11月: PCC裁判) 日P広報紙コンクール地方審査会(26日)	10	県P広報紙コンクール中央審査会(6日木) 第4回正副会長会(19日水)
5	第5回理事会(12日木) 新旧正副会長会(18日水)	11	学校給食会(1日火) 第5回正副会長会、第3回理事会(11日金) 第3回環境対策委員会(15日火) 第3回家庭教育委員会(16日水) 第5回会報編集委員会(18日金: 編集) 埼玉県PTA研究大会(26日土: 於比企地区)
6	常置委員会、新旧正副会長会、新旧理事会、歓送迎会(3日金) 第52回定期総会(22日水: 於行田市) 正副会長・地区会長・事務担当者合同会議(29日水) 第1回会報編集委員会(30日木)	12	第4回環境対策委員会(1日木) 第6回会報編集委員会(2日金: 校正、編集)(10日土) 会報204号発行(15日木)
7	第1回家庭教育委員会(1日金) 第1回環境対策委員会(1日金) 第1回理事会(6日水) 第2回会報編集委員会(15日金)	1	第6回正副会長会、合同役員会(19日木) 第7回会報編集委員会(27日金: 編集)
8	第2回正副会長会(4日木) 第3回会報編集委員会(5日金: 校正)	2	第7回正副会長会(15日水) 第8回会報編集委員会(16日木: 校正) 第4回家庭教育委員会(22日水) 第5回環境対策委員会(23日木)
9	会報203号発行(1日木) 第3回正副会長会(6日火) 第2回家庭教育委員会(7日水) 第2回環境対策委員会(8日木) 第4回会報編集委員会(9日金: 編集) 第2回理事会(29日木)	3	第8回正副会長会、第4回理事会(9日木) 会報205号発行(10日金)

本紙は各校PTAに三十部送付しております。「PTA役員」と「学校」を中心に配布してください。

県PTA研究大会開催

第51回大会埼玉県PTA研究会が、二月二十日(日) 緑ある自然の残る秩父市の秩父宮記念市民会館において多くのご来賓の方々のご臨席をいただき、盛会に開催されました。



あいさつする内山実行委員長

今回は「地域に密着したPTA活動」をメインテーマに

講演

文教大学人間科学部

教授 野島 正也氏

●研究委嘱PTAの事例発表

長瀬町立長瀬中学校PTA

吹上町PTA連合会

が行われ、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で役割を果たすとともに、相互に連携しあうことが重要である事を再認識させられる大会となりました。

主催者挨拶として、島田会長より、「平成十六年度は、子ども達の健全育成のために、親自らが『楽しく、おもしろく、すばらしいPTA活動』の推進にむけて諸問題に取り組んでいこうとスタートを切りました。ただ、現実に子ども達を取り巻く環境を考えますと、諸問題が山積し、親として、大人としてどのように対処すべきか悩むところがあります。また、昨今の少年犯罪の低年齢化、凶悪化という極めて憂慮されるべき事態が深刻化し、社会問題化している現状をふまえ、地域連携のネットワークづくりと具体的な方策として、実践的な活動が必要になってきたことを深く実感し、本大会が次の発展への大きな契機となるよう期待しています」というお言葉がありました。



島田会長のあいさつ

講演

「子どもの心を育てる 地域とPTA」

●講師 文教大学人間教育学部

教授 野島 正也氏



興味の対象がいろいろな遊び、体験を通じ、全体的にバランスが取れることが必要である。

「心のホームレス」

子ども自体、住む場所の違和感を感じている。「子どものため」とよく口にするが、親は子どもに何をしたいのか、何を発信しているか明確にし、信頼関係を構築すべきである。

「閉ざされた親密圏」

友達関係やいろいろな遊びの中で子どもたちは明確な境界線を持ち、グループが決まってしまう。この親密圏を拡げていく必要がある。

二 地域の広がりの中で 子どもたちは・・・

地域との関わりの中で子どもたちは学校での学習とは違ったいろいろなことを学べる。

①多方面への興味と知識の広がりにより、関心の連鎖が生まれる。この関心の連鎖が成長のカギである。

②みて学ぶ、聞いて学ぶ、やって学ぶ「人から学ぶ」という態度が形成される。

③あいさつ、マナー、人権意識など社会性の基礎が取得される。

④受け入れ、励まし、認めてくれる「大人」との出会いがある。

三 子どもとの関わりのポイント

①人間関係の基本は「キャッチボール」。どちらかが投げない

いと始まらないし、相手が取れる所(子どもの興味ある事項)に投げる必要がある。

②「ほめる」の意味は生かそう「ストローク」*ストロークには「なでる」の意味もあるそうです。

③子どもたちの「居場所」と「出番」づくり

四 PTA活動の課題

①子どもの成長と学校教育活動への理解

②学校の支援(学校運営、学習活動、環境整備、行事参加、安全対策・・・)

③家庭の支援(情報提供、活動機会づくり、仲間づくり、相談)

④地域の子どもの育成・交流活動(行事・教室活動、地域人材の活用、環境浄化)

↓「PTAそだち」のおとうさん、おかあさんの今後



「桜木町太鼓保存会」アトラクション

研究委嘱PTAの事例発表

研究委嘱校10校を代表して以下2校の事例発表がありました。
●長瀬町立長瀬中学校PTA



【心豊かな生徒の育成をめざすPTA活動】とし①体育祭・文化祭への協力、②さわやか相談員と語る会、③登校指導、④あんしんまちづくりパトロール隊事業への協力、⑤卒業生と語る会への協力、⑥人権フォーラムの開催など家庭・学校・地域社会の連携をおとした心温まる活動の一環を発表していただきました。



●吹上町PTA連合会

【みんなで守ろうー吹上っ子ー】吹上町の各単位PTAでも全国のPTAと同様に「パトロールの強化や工夫」、「学校や地域との連携」など、防犯に対して積極的に活動しています。

そんな中、PTA連合会として何かできることはないのか・・・そんな思いで話し合いを重ねた結果、町全体の「防犯マップ」を作成することになったそうです。

「防犯マップ」の作成にあたっては児童・生徒へのアンケートを実施し、集計結果をもとにしたそうです。「防犯マップ」は各校だけでなく、会員及び町内会、公共機関などにも配布しています。

続いて、広報誌コンクール入賞、PTA表彰、PTA活動功労者表彰があり、最後に『子どもたちの健全育成に必要な、基本的PTA活動を推進します。』という大会宣言を決議し、終了いたしました。

研究委嘱紙上発表PTA

- 戸田市立新曾小学校PTA
- 蕨市立第二中学校PTA
- 都幾川村立明覚小学校PTA
- 神泉村立神泉小学校PTA
- 熊谷市立奈良中学校PTA
- 川里町立川里中学校PTA
- 吉川市立中曾根小学校PTA
- 庄和町立葛飾中学校PTA



+++++ 広報入選作品展示 +++++

第五十一回埼玉県PTA研究会大会が平成十七年二月二十日(日)、秩父宮記念市民会館にて開催され、会場ロビーにて、中央審査会において入選した小学校七十校、中学校四十校の広報紙が展示されました。大勢の方に手にとりて頂きました。

広報紙を通して、子ども達のいきいきとした姿を感じ、各単会の熱心な取り組み、地域との関わりに感嘆の声が上がっていました。

本年度、県Pで入賞した広報紙の貸し出しをした結果、大変多くの地区からの申し出があり、皆様に見て頂く事が出来ました。会報委員会としては、県内の情報を伝えるだけ多くの会員の皆様に伝えていきたいと思っています。

会場での聞き取りアンケート

- 年間を通してテーマを決めて取り組んでいると思った。
- 予算が減らされていく中ページ数の多さにびっくりしました。
- レイアウトがすばらしい。
- 印刷屋さんによっても差がある様に思う。
- 皆さん頑張ってますね。
- 入賞校なので、予算がとりやすいです。
- 子ども達のいきいきとした様子が感じられる。
- 他校の広報紙を見て参考にさせてもらいます。
- すぐく見やすいので、中を広げたくります。
- A4版が見やすいように思いました。

日本PTA全国協議会で、受賞校、小学校二十一校・中学校二十一校の中で佳作を受賞した本庄市立北泉小学校PTAの方のお話しでは、受賞校の作品を見せて頂く、とても遊び心があつて楽しい広報紙で、わくわくしてくるような作品だったそうです。



「ゆとりゆとりと言うけれどゆとりを探すゆとりがほしい！」

子どもたちの心が健全に育つためにも、大切に必要なことですね。わかっていても、大人も子どもも日々忙しく、ゆとりを持って暮らすことはなかなか難しいです。

それぞれの地区でも話題にされることが多いこの「ゆとり問題」については、教育行政、教育に関係する全ての人達が、今、たくさんの議論を重ねています。

この問題については、文部科学省も見直し・検討に入りました。各方面に向けての「報告」が待たれるところです。

どのような結果が出て、この報告がとぎれなく次世代を育成している現在、また、未来に向かっての教育について、大いなる指標になるはずですね。

この問題については、それぞれの立場からの意見の持ち寄り、対話を重ねることが大切なのではないでしょうか。

皆様からの、ご意見を更に伺いたと思います。お待ちしております。

● 埼玉県PTA連合会 事務局

TEL 048-822-8561

FAX 048-814-0757

Eメール

saitama-pta@aioros.ocn.ne.jp

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和5-6-5

21世紀を開拓する

志木市「いろは遊学館」

H17年2月22日

家庭教育委員会研修・見学会

16年度の家庭教育委員会の研修会として、志木市にあります、《いろは遊学館》に研修と見学に伺いました。ここは館内に遊学館と図書館、志木小学校が入る融合施設です。

《志木小学校》志木小学校では、地域ぐるみで子ども達を育てていくコミュニケーションを目指し、地域に開かれた学校を作っていました。平成15年1月より学校が、4月より遊学館と図書館が開館されてもうすぐ2年が経ちます。正面には警備員が待機し、職員室は図書室と同じフロアにある



カウンター越しのオープンタイプ、いつでもコミュニケーションがとれる雰囲気でした。教室は、ドアがなく可動式のロッカーでフロアの廊下を仕切っています。見学におじゃました日は、学校公開日でしたが、遊学館のホールを利用しての学年発表が行われていました。

私達は、2年間、館内の方達や職員の皆さんが努力し、工夫し、子ども達を指導し作り上げてきたこの学校の教育効果に感心し、新鮮さを感じました。融合施設にする事で期待できる、『教育効果』には「生きる力」の育成を基本とする子ども達が自ら学び、自ら考える教育の推進を図り、学校といろは遊学館・いろは遊学館図書館との交流を通じて、子ども達の学習・体験活動の幅を広げ、「学校教育の社会化」を展開しています。

又、地域の方々が、生涯学習の一環として、施設を利用するなかで、児童との交流が図られ、児童市民に教育の相乗効果が得られています。

教育の特色は、施設すべてが教材というように、生涯学習の拠点として、施設を利用する市民等との直接的なふれあいを通して、子ども達の知恵や知識や社会性を育

み、特色のある教育が進められています。21世紀の教育を開拓するとの言葉の通り電気は、風力発電・ソーラー発電、雨水利用などエコスタイルの機能やコンピューターネットワークの充実により、情報学習など、人的・物的のすべてが、教材となり得ていました。

家庭科調理室はガスは使わず、器具の位置、机の位置にも工夫されています。理科室の机も授業の内容でグループ移動できる机など子どもを中心に学校内には、考えられた配慮が感じられます。屋上のビオトープ、学年ごとの栽培、田んぼがありました。

《いろは遊学館図書室》にも一般の人と一緒に小学校の図書委員も入ります。利用時間もクラスごとの利用時間割が作られています。フロアの真ん中に読み聞かせの畳のスペース、ここもガラスで囲まれている静かです。柵の高さも子ども視線に丁度良い高さに児童書が並べられていました。

《研修・見学を終えて》

地域の施設の中に学校がある。初めは、もつと子どもの声が、にぎやかに響いているのかと思っていたら、公共の施設でのマナーも身に付けていたのには、驚きました。校内ではチャイムも鳴らないそうです。地域の大人との交流で子ども達が得る教育効果はこの時期とても大切な事だと、改めて感じました。そして防犯面もしっかりした管理がされていました。

平成十八年度各委員会より

環境対策委員会報告

児玉 清則

本年度環境対策委員会は、青少年を取りまく環境の更なる向上を目指すことを基本方針として、一年間活動に取り組んできました。特に不登校と引きこもりを考えると、会の会合を開催したり、子ども達を薬物から守る為の薬物乱用防止について活動を行い、啓発活動の重要性を感じております。

一年間の活動を振り返って

組織検討委員会 前田 英光

この一年間、多数の検討しなければならぬ項目について、各委員間で熱い議論を交わしました。その議論の中核は、やはり根本である「子どもたちのため、そして単位PTAの活動が活性化する情報を常に発信できる埼玉P連」となりました。より単会に頼られる組織になるよう願っております。

PCC問題対策委員会より

内山 賢一

提示された領収書の確認・認否作業が終わり、第12回の口頭弁論でPCC側に資料を提出いたしました。しかし2月28日の第13回口頭弁論では、まだPCCからは資料が提出されていない状況です。正副会長・委員が一丸となり問題解決に向かい努力しております。皆様のご協力宜しく願います。

編集後記

皆様のご協力により会報紙を発行することができました。

埼玉/津江知子 いつも笑い声のたえない楽しい委員会でした。編集作業ばかりでなく、真剣に語り合えて、大変有意義な会でした。児玉/柴崎愛子 委員会の皆さんと忌憚のない意見交換が出来、大変楽しい一年を過ごすことができました。一期一会に感謝です。

秩父/阪本昇寿 初めての県P。会報編集。素晴らしい仲間との出会い。「長距離」の疲れもどく吹く風の有意義な一年でした。北埼玉/高橋雅一 県P会報編集委員会に参加させて頂きました。色々と参考になりました。ありがとうございます。

南部/竹渕建二代理齋藤直子 思いがけず会報に関わることになり、とても楽しい情報交換に参加することができ感謝しています。北部/遠藤春美 編集委員として何の責務も果たせなまま終わってしまいました。貴重な経験させてください。

比企/前村耕治 県P連の会報紙の編集に携わり、各地区の委員さん達と幅広く意見交換できた事が貴重な財産となったと思います。大里/小暮敦代 新しい出逢いの中から学んだ事も多かった。思っています。これからも、活発な意見交換の場として期待します。